

辺野古通信

第81号 2023年3月23日



3/15 辺野古断念求める署名活動(横浜駅西口)



3/6 防衛省前釘行動

発行: 沖縄の自立解放闘争に連帯し、反安保を闘う連続講座(沖縄講座@横浜)
沖縄講座 HP <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~okinawa-koza/> QRコード



横浜港への米部隊配備撤回！琉球弧の戦場化を許すな！

■昨年12/16、岸田政権は「安保三文書」を閣議決定、国会論議も無く本年1月には日米(2+2)及び首脳会談で既成事実化した。防衛費を倍増させ、敵基地攻撃力を保有し、琉球弧の最前線化―戦場化を前提にした、米国の対中封じ込め戦略への隷従であり、戦後安保政策の大転換だ。

■1/12、政府は日米協議の結果として横浜ノースドッグNDへの米陸軍揚陸艇部隊(280人)の常時配備を港湾管理者の横浜市に通告した。この部隊の任務は「大規模戦闘作戦での戦闘行動支援」とされ、同時に発表された在沖海兵隊の改編―海兵沿岸連隊MRLと連携して「台湾有事」の際の遠征前進基地作戦EABOを担う攻撃部隊だ。横浜港のど真ん中に位置するNDは市も県も早期返還を求めてきた米軍施設であり、新たな攻撃部隊の配備など論外だ。

■琉球弧の島々の港湾・空港・公道を使って「台湾有事」を想定した軍事訓練が激しさを増す。石垣駐屯地開設(3/16)が「南西諸島の陸自の空白を埋める最後のピース」とされる。島々には敵基地攻撃力を持つ長射程ミサイル配備まで計画され、例えば台湾に近い与那国島では、陸自沿岸監視部隊、情報保全隊、電子戦部隊、ミサイル部隊と、小さな島が丸ごと要塞化される。戦端が開かれるや島々は攻撃対象、標的となる。戦場となるのは、人々の日々の暮らしがあり、人間の住んでいる島だ。

■陸自配備を推進してきた保守派や「人口減対策」のレベルで自衛隊基地を容認

してきた島民の中からも「攻撃的なミサイル配備までは聞いていない」と動揺が広がっている。石垣市議会では攻撃的な長射程ミサイル配備は「到底容認できない」とする意見書も採択されている(12/19)。「ノーモア沖縄戦 命どう宝の会」などが呼びかけた戦場化に反対する2/26県民集会には主催者の予想を超えて1600人が集まった。集会の中では若い世代が中心的な役割を果たしたという。玉城知事も攻撃的なミサイル配備には「明確に反対」(2/8県主催のシンポ)と表明、3/6-10には訪米し、辺野古断念・PFAS汚染問題解決と合わせ台湾有事の回避を求め米政府と議会に要請行動を展開した。

■3/16福岡高裁那覇支部は、辺野古軟弱地盤改良工事のための設計変更申請に対する知事の「不承認」を巡る2件の国関与(A「不承認取消し裁決」とB「是正指示」)取消を求める訴訟の判決で、県の訴えを退けた。Aについては門前払いであったが、Bについて初めて司法判断を示した。しかしその内容は県の不承認理由を全て退け「裁量権の逸脱・乱用」とまで踏み込んだ。玉城知事は「国の代弁をしている」と批判し上訴の準備を始めている。

■みなさんからのカンパは約20年間の累計3,622,818円(1/末現在)。ヘリ基地反対協等を通じ辺野古ゲート前や海上、安和の阻止行動等に役立ってます。郵便口座00210-0-2021 沖縄連続講座

止めよう！琉球弧の戦場化 5.25 横浜集会

- ◆日 時 2023年5月25日(木) 18時半
- ◆会 場 神奈川県民センター・ホール(横浜駅西口徒歩5分)
- ◆講 師 山城博治さん(ノーモア沖縄戦 命どう宝の会共同代表)
- ◆主 催 島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会 ◆資料代 800円(学生無料)
- ◆協 賛 神奈川平和運動センター/基地撤去をめざす県央共闘会議